

創部 山林西高校相撲部



1

1 相撲部員 (学年・氏名・出身中)

※写真⑤から

- 1年 脇屋敷皇貴さん (永久津中)、
- 1年 下田航樹さん (延岡市・延岡中)、
- 1年 下田大樹さん (延岡市・延岡中)、
- 1年 富永陸人さん (延岡市・東海中)

2 練習の様子

3 高千穂高校と一騎打ちとなった初の県高校総体



3



2

相撲盛り上げたいと創部を決意

今年4月、小林西高校に相撲部が創部されました。

創部したのは、同校に勤務する教諭で、現在、相撲部の監督を務める木浦和浩さん(34歳)。自身も小学生から相撲を始め、多くの力士を輩出している日本大学相撲部の出身であり、同校赴任前は鹿児島県の相撲強豪校でコーチを務めるなど、相撲に長く携わってきました。

そんな木浦監督が小林西高校に赴任して感じたのが、西諸地域の相撲人口の少なさでした。「地域の人に相撲の面白さを知ってもらいたい。競技人口を増やし、相撲に恩返しをしたい」と考え、創部を決意。県内の相撲道場などに足を運び、声をかけたところ富永さんと下田さん兄弟の3人が小林西高校に進学し、相撲部に入部しました。

3人は延岡市内の同じ道場出身。木浦監督が道場に訪れたときにももらったアドバイスが、わかりやすかったことが入部の決め手でした。その後、脇屋敷さんも入部し、

1年生4人が相撲部員として活動しています。

初の県高校総体から九州・全国大会へ

6月2日、県高校総体相撲競技がひなた武道館相撲場で開催され、創部後初の大会に出場しました。

大会では高千穂高校との一騎打ちとなり、団体戦では惜敗したものの、個人戦で富永さんと、下田大樹さんが全国大会への出場を決めました。また、団体戦でも7月上旬にある九州大会に出場することになりました。

主将の下田大樹さんは「県大会では緊張したが、自分なりの相撲をとることに集中しました。全国大会は体が大きい人ばかりなので、まずは1勝を目指してがんばりたい。また部としては九州大会で入賞することが目標です。」と全国大会・九州大会の意気込みを語りました。

これからが楽しみな、小林西高校相撲部の挑戦は始まったばかりです。